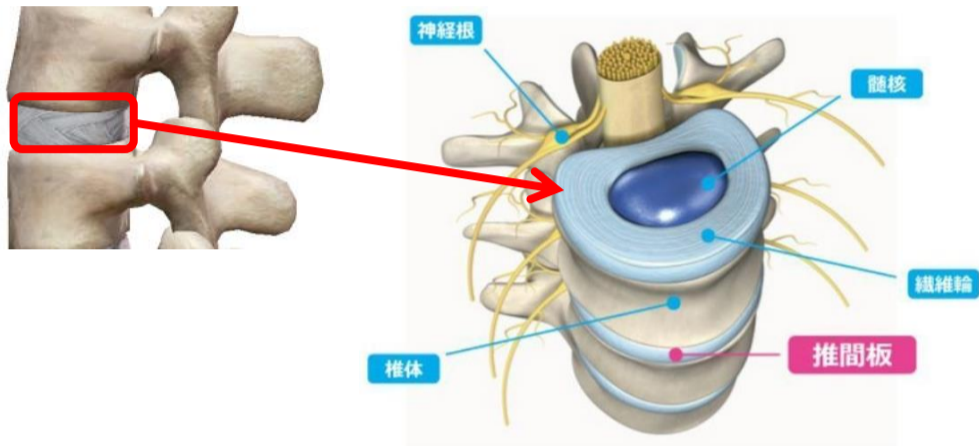


腰部シリーズ④ 腰部脊柱管狭窄症

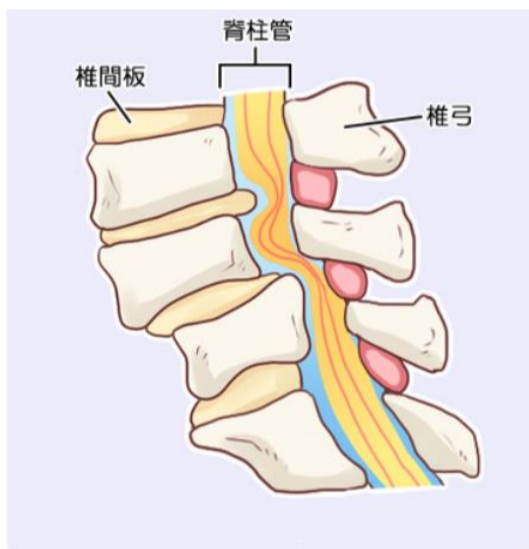
1:腰部脊柱管狭窄症の病態と原因

腰部脊柱管狭窄症とは



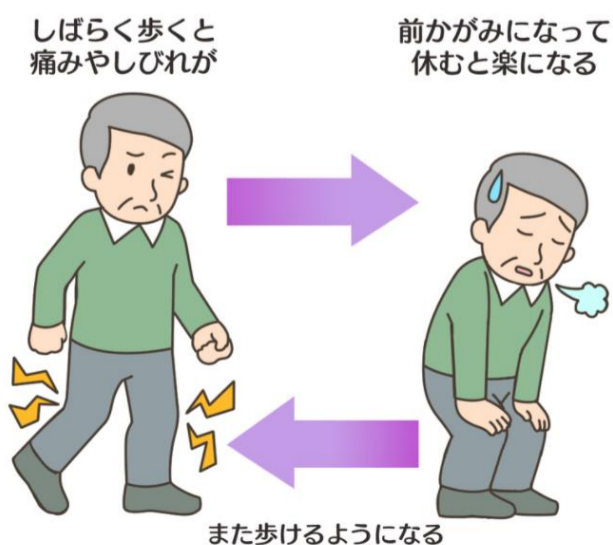
椎体(背骨の骨)には空洞が存在し、椎体が連なることで脊柱管と呼ばれるトンネル状の管が存在します。この脊柱管が何らかの影響で狭窄されることにより症状が出現することを脊柱管狭窄症と呼びます。

原因



加齢や骨や靭帯などの変性によって背骨の変形していきます。それによって脊柱管が狭くなります。そのため、中を通っている神経が圧迫されることで血流が悪くなり、腰や足の痛み、しびれなどの症状が出現されると考えられています。

2:腰部脊柱管狭窄症の症状



主に、ふとももやひざ下にしびれや痛みがでて長い距離を歩くことが難しくなります。安静時にはあまり症状は出現しないことや前かがみになることや腰かけること痛みが軽減されることも特徴です。